

芦屋大学の教員養成の目標（理念）

本学の教育目標である「豊かな教養と人間性を身につけ、自立し、社会に貢献できる力、具体的には、考えて行動し、チーム力を大切にする、目に見えない学力を【人間力】と位置づけ、社会で即戦力となる【人間力】を備えた人材の育成」を基礎とした教員養成を目標とする。（一部抜粋）

1. 子どもたち一人ひとりと向き合い、子どもたちの心に寄り添うことができる教師

建学の精神や学部の理念（現実の社会課題を直視する教育を行うという教育方針）を踏まえ、子どもたち一人ひとりに対する愛情や責任感を持ち、子どもたちと向き合うことができる教員を育成する。

2. 専門性を高め、実践的指導力のある教師

教育の専門家として、子どもの理解力を基盤とした学習指導や生徒指導など、高い専門知識と指導力を備えた教員を育成する。また、本学の特色を生かし、子どもたちの理科離れを興味関心へ転化させるための自然科学の分野を学ぶ機会も設ける。

3. 地域社会の教育課題に対応できる教師

地域社会が抱えているさまざまな教育課題に応じていける資質能力を養うことができるように支援する。また、本学のもうひとつの特色を生かし、発達障害など、特別支援教育の課題に対応できるように配慮する。